

# 株主の皆様へ

## 第59期のご報告

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



ミシン糸の総合メーカー

株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第59期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長

藤井 一郎

**当期の概要** 秋以降の消費の鈍化や衣料品の生産調整の影響などにより売上が伸び悩み減益となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、大企業を中心とした業績回復を背景に、景気は上半期は堅調を維持してきたものの、下半期以降は米国のサブプライムローン問題に端を発した株価下落や為替の変動、さらには原油、原材料価格上昇の影響による諸物価の上昇で、消費が一層慎重になりつつあるなど、景気の先行きは急速に不透明感が強まっております。

縫い糸市場も、下半期以降、天候不順などによる国内衣料品の消費低迷や消費者の生活防衛意識の高まりなどの影響を受け、国内市場を中心に厳しさを増す状況となりました。

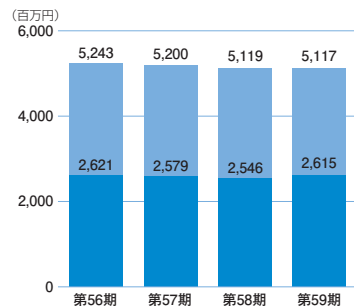
このような状況のなか、当社グループは、中国においては、引き続き営業体制の整備・拡充に、また国内においては、縫製メーカーに対する販促活動の強化や、手芸分野への新製品投入による市場の活性化と需要の掘り起こしに努めてまいりました。

この結果、中国における売上高は増加したものの、日本国内販売は減少に歯止めがかからず、当連結会計年度の売上高は、ほぼ前期並みの5,117百万円となりました。また利益面では、国内において経費の削減に努めましたが、国内販売の減少に加え、原材料価格の上昇、中国での販売体制強化に伴う経費増加や子会社事業所の移転なども影響し、営業利益は、141百万円（前期比45.4%減）、経常利益は、191百万円（前期比35.5%減）、当期純利益は、39百万円（前期は特別損失計上により210百万円の純損失）となりました。

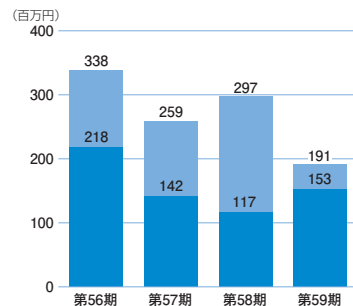
なお、山之内事業所の滋賀事業所への移転・統合は、当初予定では本年7月に完了の予定でしたが、建築確認申請の遅れなどにより、進捗が遅延しております。移転・統合の完了は、平成20年12月を予定しております。

## 財務ハイライト（連結）

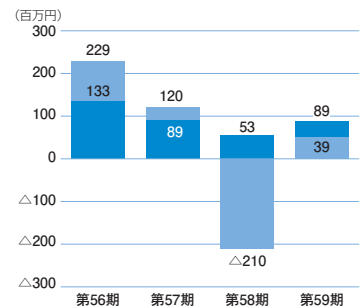
### 売上高



### 経常利益



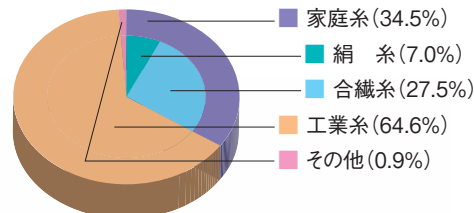
### 当期（中間）純利益



## 部門別売上高（連結）

部 門		金 額
家 庭 系	絹 系	359百万円
	合 織 系	1,406百万円
小 計		1,766百万円
工 業 系	合 織 系	3,307百万円
そ の 他	原 材 料 及 び 半 製 品	43百万円
合 計		5,117百万円

## 売上比率



### 家庭系部門

上述のとおり、下半期には、食料品など生活関連商品の値上げ機運や先行きの不透明感により、消費者の生活防衛意識が高まり、消費がより慎重になる中、手作りホビー市場も全般に低調な状況が続いております。

当社グループは、国内トップシェアを有する当分野で、新製品の投入による市場の活性化や、各地のホビー関連イベントを通して需要の掘り起こしに努めるとともに、さらなるシェア拡大を目指して販売活動を展開しました。また、上海におけるパッチワークキルトの普及活動も地道に継続しております。これらの結果、当部門の売上高は、1,766百万円（前期比2.4%減）となりました。


### 工業系部門

日本で消費される衣料品は、中国を中心としたアジア諸国に生産が移行し、その副資材である縫い糸も現地での調達傾向がますます強まっております。当社グループは、このうち最も大きな市場である中国において、当連結会計年度に新たに寧波と南京および青島に営業拠点を開設して、既設拠点と合わせて7拠点とし、一貫生産体制の強みと品質への信頼を活かしながら販売活動を一層強化しております。

一方、海外縫製分の受注が依然減少傾向にあります日本におきましては、国内縫製における受注を拡大するための販促活動を強化しております。しかしながら、特に下半期以降は国内の天候不順等による衣料消費の低迷が原因で、日本、中国ともに日本向け衣料品の生産調整が顕著となり、これらの結果、当部門の売上高は、3,307百万円（前期比1.9%増）にとどまりました。

### その他部門

当部門は、縫い糸用の撚糸や染色加工後の半製品、その他手作り手芸関連商材などを販売しておりますが、国内の絹糸販売の大幅減少により、当部門の売上高は、43百万円（前期比31.9%減）となりました。



## 今後の見通し

日本経済は景気の停滞感や先行きの懸念が大きくなっていますが、引き続き中長期の課題を着実に前進させ、業績の回復に努めます。

国内経済は、米国の景気減速等による為替相場や株式市況の変動、原油・原材料の高騰と諸物価の値上がりなどにより、景気の停滞感や先行きの懸念が大きくなりつつあります。またこれらや年金問題などを受けて、生活防衛意識の高まりによる個人消費の減速が懸念されます。さらに経済の過熱する中国においても政治面、経済面において不安定な要素も多く、今後はカントリーリスクが高まることも予想されます。

このような当面の状況や将来を踏まえ、当社は平成20年12月を目処に国内生産の統合による生産体制の見直しを実施するなど、引き続き対処すべき課題を着実に前進させ、競争力を高め、お客様の信頼をより強固にしつつ、中国及び海外市場のさらなる開拓はもちろん、国内シェアの拡大と手作りホビー需要の創造に努めて、業績の回復と安定的な経営基盤の再構築を目指してまいります。

## 今後の事業環境と当社グループが取り組むべき課題

中長期的には成長可能な事業環境のなか、今後も糸の製造業に徹して堅実な収益を維持し、全てのステークホルダーへの貢献を目指します

当社グループは、今後事業を取り巻く環境について次のように考えております。

- 1) ライフスタイルの多様化などにより、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要は、近年漸減傾向が続いているものの、進行する高齢化や格差社会を背景に、「ゆとり」や「和み」、あるいは「生きがい」が見直されつつある中で、中長期的にはソーイングを含む手作りホビーに対する潜在需要が期待できる。
- 2) 欧米の既存の手作りホビー市場における当社の販売シェアがまだ極めて小さいことや、経済と生活文化の発展が著しい中国大都市部における手作りホビー需要の増加が期待できることから、海外市場における販売拡大が可能である。
- 3) 衣料製品に使用される縫い糸や刺しゅう糸については、中国を始めとするアジア諸国に需要が移りつつあり、国内市場は縮小を余儀なくされているものの、当社の国内における縫い糸の販売シェアはまだ高いとは言えず、世界的な一大縫製基地となった中国においては言うまでもなく、日本国内においてもシェア拡大による販売増加が実現可能である。

以上から、手作りホビーの需要を掘り起こし、製品やサービスを通してお客様の満足度を向上させて支持を得ることにより、当社グループは中長期的には十分成長が可能であり、今後も長年にわたって蓄積してきた糸作りの技術や開発力・提案力を活かした糸の製造業に徹して、生活に欠くことの出来ない「衣」の分野、



心を和ませる「手作りホビー」の分野にかかわりながら、グループとして堅実な収益を維持し、株主の皆様やお取引先、従業員を含む全てのステークホルダーへの貢献を目指してまいります。

そして上記を実現するために当社グループは、

- 1) メーカーとしての原点に立ち返り、顧客の信頼と満足度を高めるため、引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、生産システムの更なる改善により、コストダウンと納期短縮を徹底し、競争力の強化を図ってまいります。
- 2) 連結子会社の製造・販売の強化及び当社との連携強化により世界の縫製基地となった中国縫製市場の開拓を一層押し進めてまいります。
- 3) 国内市場においては、家庭用、工業用ともに戦略の再構築によりシェア拡大を図ってまいります。
- 4) 手作りホビー市場に対して活性化のための提案を継続して、需要の創造にチャレンジするとともに、海外市場のさらなる開拓に努めてまいります。
- 5) 業界のリーディングカンパニーを目指すべく、一層の経営体質の強化及び人材の育成と活性化を図ってまいります。
- 6) 社会的信頼の維持はもとより、環境負荷の軽減を始め企業としての社会的責任を果たしてまいります。

上記の課題に引き続き取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	6,473,145	6,580,277	流 動 負 債	803,910	774,118
現 金 及 び 預 金	2,486,587	1,680,348	支払手形及び買掛金	365,388	273,276
受取手形及び売掛金	1,346,094	1,466,206	短 期 借 入 金	69,634	69,520
有 価 証 券	200,366	999,602	未 払 金	96,032	107,666
た な 卸 資 産	2,295,825	2,261,874	未 払 法 人 税 等	14,289	12,842
繰 延 税 金 資 産	63,218	56,754	賞 与 引 当 金	69,528	80,489
そ の 他	98,514	127,746	そ の 他	189,036	230,322
貸 倒 引 当 金	△ 17,462	△ 12,256	固 定 負 債	596,812	854,997
固 定 資 産	4,766,309	5,222,697	繰 延 税 金 負 債	339,286	567,451
有 形 固 定 資 産	1,423,447	1,537,465	退 職 給 付 引 当 金	1,853	1,481
建 物 及 び 構 築 物	612,863	665,313	役員退職慰労引当金	147,960	163,680
機械装置及び運搬具	495,915	550,792	生産拠点移転統合損失引当金	101,437	110,392
土 地	266,959	266,959	そ の 他	6,275	11,992
そ の 他	47,709	54,400	負 債 合 計	1,400,722	1,629,115
無 形 固 定 資 産	133,021	157,061	(純 資 産 の 部)		
投資その他の資産	3,209,840	3,528,169	株 主 資 本	8,849,409	8,909,540
投資有価証券	1,368,862	1,852,285	資 本 金	923,325	923,325
長 期 貸 付 金	291,121	214,884	資 本 剰 余 金	758,014	758,014
繰 延 税 金 資 産	—	32,701	利 益 剰 余 金	7,180,076	7,239,362
長 期 性 預 金	1,200,000	1,200,000	自 己 株 式	△ 12,006	△ 11,161
そ の 他	356,103	239,619	評価・換算差額等	620,353	936,301
貸 倒 引 当 金	△ 6,246	△ 11,322	その他有価証券評価差額金	455,560	791,635
資 産 合 計	11,239,455	11,802,975	為替換算調整勘定	164,793	144,666
			少 数 株 主 持 分	368,969	328,016
			純 資 産 合 計	9,838,732	10,173,859
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	11,239,455	11,802,975

「現金及び預金」「有価証券」の変動は、短期社債の満期返戻等によるものであります。

「投資有価証券」の減少は、株価下落の影響によるものであります。

## 連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
売 上 高	5,117,456	5,119,319
売 上 原 価	3,468,297	3,382,555
売 上 総 利 益	1,649,158	1,736,763
販売費及び一般管理費	1,507,272	1,477,006
営 業 利 益	141,886	259,756
営 業 外 収 益	75,437	53,293
営 業 外 費 用	25,418	15,296
経 常 利 益	191,906	297,753
特 別 利 益	1,206	201
特 別 損 失	12,196	360,068
税 金 等 調 整 前 当期純利益 (△は損失)	180,916	△ 62,113
法人税、住民税及び事業税	43,983	44,881
法 人 税 等 調 整 額	27,780	26,589
少 数 株 主 利 益	69,269	77,062
当期純利益 (△は損失)	39,882	△ 210,647

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	468,873	451,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	296,518	△ 518,927
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 123,165	△ 84,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 35,417	△ 28,164
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	606,808	△ 179,456
現金及び現金同等物の期首残高	780,348	959,804
現金及び現金同等物の期末残高	1,387,156	780,348

## 連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	923,325	758,014	7,239,362	△ 11,161	8,909,540	791,635	144,666	936,301	328,016	10,173,859
連結会計年度中の変動額										
剰 余 金 の 配 当			△ 91,435		△ 91,435					△ 91,435
従業員奨励及び福利基金繰入額			△ 7,733		△ 7,733					△ 7,733
当 期 純 利 益			39,882		39,882					39,882
自 己 株 式 の 取 得				△ 845	△ 845					△ 845
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 336,074	20,126	△ 315,948	40,952	△ 274,995
連結会計年度中の変動額合計			△ 59,285	△ 845	△ 60,131	△ 336,074	20,126	△ 315,948	40,952	△ 335,126
平成20年3月31日残高	923,325	758,014	7,180,076	△ 12,006	8,849,409	455,560	164,793	620,353	368,969	9,838,732

個別財務諸表

個別貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当 期 (平成20年3月31日現在)	前 期 (平成19年3月31日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	5,161,658	5,311,743
固 定 資 産	4,940,793	5,421,212
有 形 固 定 資 産	965,610	1,069,664
無 形 固 定 資 産	119,400	141,190
投資その他の資産	3,855,782	4,210,357
資 産 合 計	10,102,451	10,732,956
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	458,537	411,224
固 定 負 債	565,484	828,629
負 債 合 計	1,024,022	1,239,853
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	8,622,868	8,701,467
資 本 金	923,325	923,325
資 本 剰 余 金	758,014	758,014
利 益 剰 余 金	6,953,535	7,031,289
自 己 株 式	△ 12,006	△ 11,161
評価・換算差額等	455,560	791,635
その他有価証券評価差額金	455,560	791,635
純 資 産 合 計	9,078,429	9,493,102
負 債 ・ 純 資 産 合 計	10,102,451	10,732,956

個別損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当 期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	前 期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
売 上 高	4,275,454	4,402,050
売 上 原 価	3,119,192	3,200,764
売 上 総 利 益	1,156,262	1,201,285
販売費及び一般管理費	1,199,313	1,247,446
営 業 損 失	43,050	46,160
営 業 外 収 益	118,167	125,799
営 業 外 費 用	21,009	9,440
経 常 利 益	54,107	70,198
特 別 利 益	—	—
特 別 損 失	1,507	358,707
税引前当期純利益 (△は損失)	52,600	△ 288,509
法人税、住民税及び事業税	4,640	5,301
法 人 税 等 調 整 額	34,278	23,850
当期純利益 (△は損失)	13,682	△ 317,661

個別株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	923,325	758,014	7,031,289	△ 11,161	8,701,467	791,635	791,635	9,493,102
事業年度中の変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩								
特別償却準備金の取崩								
別途積立金の積立			△ 91,435		△ 91,435			△ 91,435
剰余金の配当			13,682		13,682			13,682
当期純利益				△ 845	△ 845			△ 845
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の						△ 336,074	△ 336,074	△ 336,074
事業年度中の変動額(純額)			△ 77,753	△ 845	△ 78,598	△ 336,074	△ 336,074	△ 414,673
事業年度中の変動額合計			△ 77,753	△ 845	△ 78,598	△ 336,074	△ 336,074	△ 414,673
平成20年3月31日残高	923,325	758,014	6,953,535	△ 12,006	8,622,868	455,560	455,560	9,078,429



# 会 社 の 概 要

(平成20年 3 月31日現在)

## 事 業 内 容

当社グループは、アパレル縫製用及びホームソーイングを始めとする手作りホビー用の縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売も行っております。

創 業	大正10年（1921年）3月
設 立	昭和25年（1950年）1月
資 本 金	923,325,000円
従 業 員 数	166名 ＊パート18名を含む（連結368名）

## 事 業 所

本社	管理部・営業本部	京都市北区
東京支店	営業部・物流センター	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流センター	滋賀県東近江市
山之内事業所	生産部（染色部門 研究開発室）	京都市右京区

## 連結対象子会社

上海富士克制線有限公司	（生産子会社 上海）
上海富士克貿易有限公司	（販売子会社 上海）
富士克國際（香港）有限公司	（販売子会社 香港）
上海新富士克制線有限公司	（販売子会社 上海）

# 役 員

(平成20年 6 月27日現在)

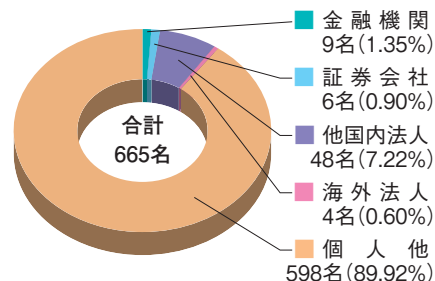
代表取締役社長	藤井 一郎	
常 務 取 締 役	松岡 繁生	営業本部長
取 締 役	森川 幸俊	生産部長
取 締 役	山本 和良	管理部長
常 勤 監 査 役	高橋 篤	
社 外 監 査 役	工藤 雅史	弁護士
社 外 監 査 役	中村 利雄	弁護士

# 株式の状況 (平成20年 3月31日現在)

発行可能株式総数 19,945,000株  
 発行済株式の総数 7,340,465株  
 株主数 665名  
 大株主

株主名	持株数 千株	出資比率 %
藤井幸二	725	9.91
藤井多鶴子	717	9.80
藤井眞津子	441	6.03
小原京子	377	5.16
森本町子	328	4.49
鈴木直子	328	4.49
藤井一郎	283	3.87
藤井太郎	200	2.73
フジックス社員持株会	179	2.45
三井住友銀行	169	2.32

株式分布状況



(注) 出資比率は自己株式 (27,401株) を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度  
株主確定基準日

毎年4月1日から翌年3月31日まで

(1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日

(2) 中間配当金の支払いを行うときは 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

定時株主総会  
単元株式数  
株主名簿管理人  
同事務取扱場所

毎年6月

1,000株

住友信託銀行株式会社

〒540—8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒183—8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120—175—417

0120—176—417

同取次所  
公告方法

住友信託銀行株式会社 全国各支店

電子公告としております。

公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

(ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。)

上場証券取引所  
証券銘柄コード

大阪証券取引所市場第二部

3600

# トピックス

## 新製品

### SILK THREAD ART (シルクスレッドアート)

シルクスレッドアートは、絹糸を使って絵を描く新しいクラフトです。下絵に沿って糸を貼り付けるだけで、誰でも手軽に絵を描くことが出来ます。糸をほぐしたり、撚りを加えるなど色々な手法を使うことにより、様々な質感や遠近感などを表現できます。専用糸72色と下絵付キャンバス、無地キャンバスも販売しており、思い出の写真や絵を作品にして楽しめます。



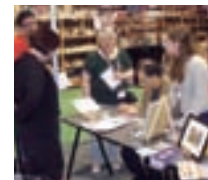
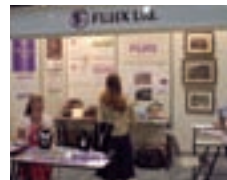
### FJX BEAD CROCHET (ビーズクロッシェ) Thread

ビーズクロッシェとは、糸とレース針を使用しビーズと一緒に編みこんでアクセサリ等を作る手芸です。FJX BEAD CROCHET糸は1本の糸を様々な色で染めた糸で、ビーズの色を変えることなく糸の色によって美しい色柄を表現することが出来ます。



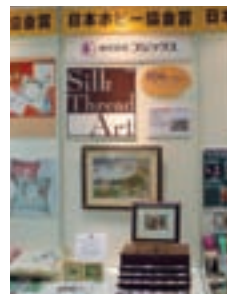
### 平成20年1月

米国クラフト&ホビー協会主催の世界最大のクラフトホビーの展示会に昨年に引き続き出展いたしました。今回は、新しいクラフトとして提案している「シルクスレッドアート」の紹介を行い、来場者の方の関心を集めました。



### 平成20年5月

米国でも紹介いたしました絹糸で絵を描くクラフト「シルクスレッドアート」が、日本ホビー協会主催2008日本ホビーショー「第8回ホビー産業大賞」の日本ホビー協会賞を受賞しました。



# フジックスグループ・Network

★ 営業部門

● 生産部門



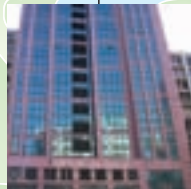
喜楽多拼布店 (キルトショップ)



上海富士克制線有限公司



上海新富士克制線有限公司  
大連分公司  
青島分公司  
南通事務所  
広東事務所  
南京事務所  
寧波事務所



富士克國際 (香港) 有限公司



東京支店

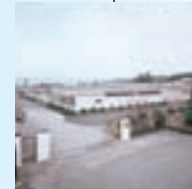
東京  
京都  
滋賀

京都

滋賀

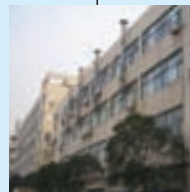


本社



滋賀事業所 (工場・物流センター)

大連  
青島  
南京  
南通  
上海  
寧波  
広東  
香港



上海富士克貿易有限公司

ホームページのご案内  
財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、商品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。  
<http://www.fjx.co.jp>



 **FUJIX Ltd.**

 PRINTED WITH  
SOYINK™